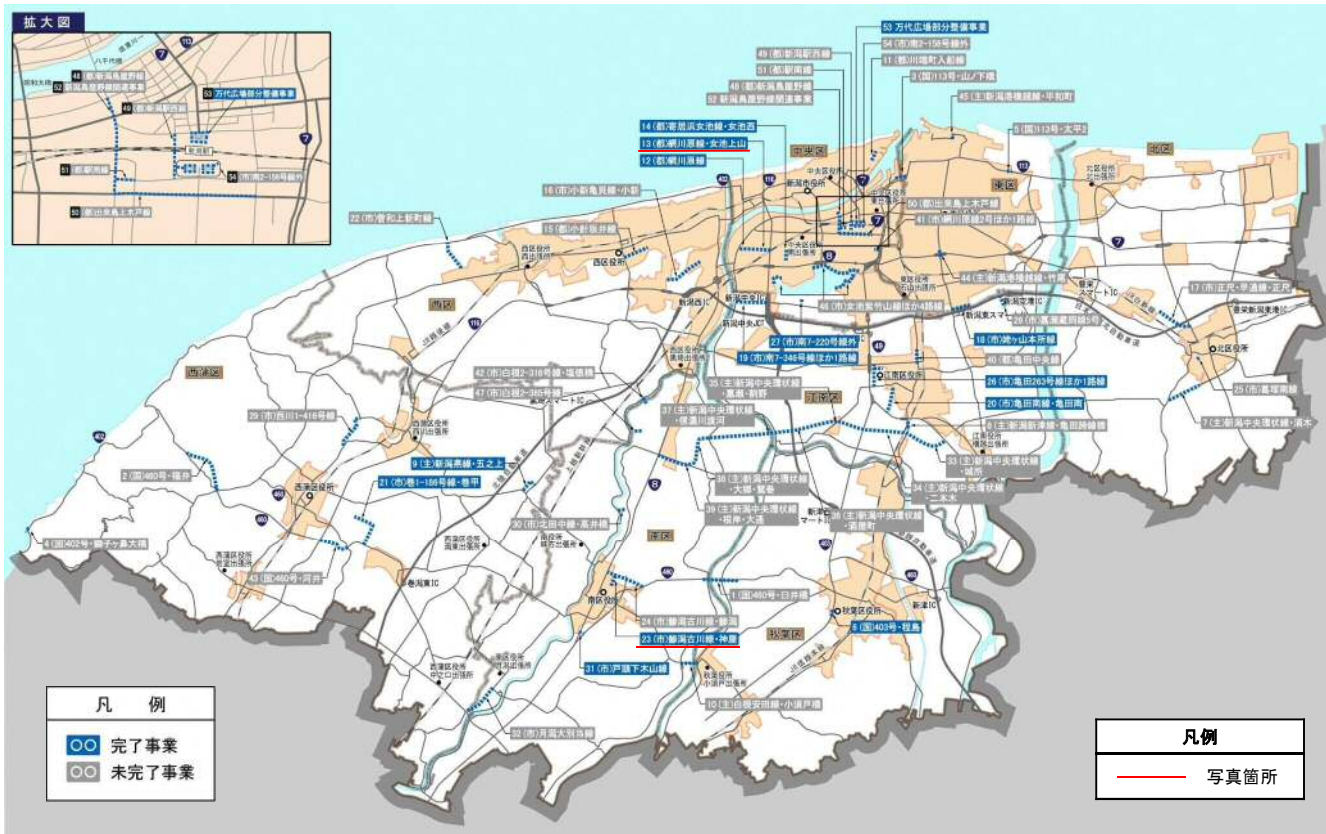
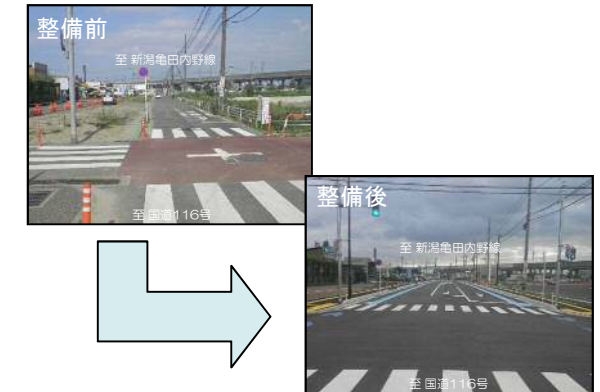


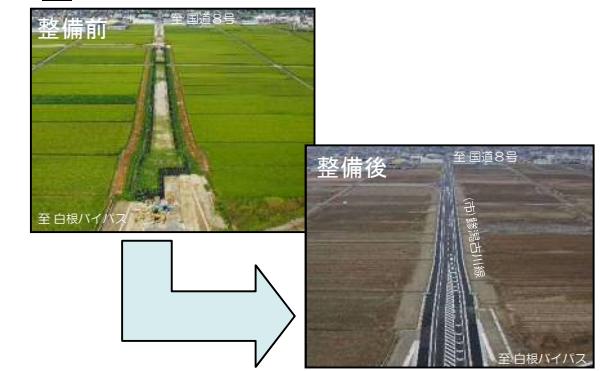
計画の概要	計画の成果指標(定量的指標)					
	成果目標	定量的評価指標	現況値	中間値	目標値	実績値
◎計画期間：平成26年度～30年度(5年間)						
◎計画の目標 ・災害時における円滑な交通を確保し迅速な復旧・復興を支えるため、都市基盤となる幹線道路網整備や安心・安全な道路空間整備を行うことにより、緊急輸送や安全な避難路の確保など本市の防災機能の向上を図る。	①災害直後に給水車などの緊急車両が通行可能な新潟市内の道路幅員がW=7.5m以上の幹線道路から、500m圏内の人口の割合を約53%から約55%へ拡大。	幹線道路から500m圏内の人口の割合(%)	53%	—	55%	未達成 54%
	②幹線道路100kmあたりの自動車に関する死傷事故件数を161件/100kmから114件/100kmに減少。	幹線道路100kmあたりの死傷事故件数[自動車](件/km)	161件/100km	—	114件/100km	達成 98件/100km
◎総事業費：約 178 億円	③整備対象橋梁が通行できない際に生じる迂回時間を1時間38分から1時間7分に短縮。	迂回時間(分)	1時間38分	—	1時間7分	未達成 1時間28分



13(都) 網川原線・女池上山



23(市) 鯉潟古川線・神屋



今後の方針等

◇新潟都市圏における地域間連携の強化等により、交通環境を改善し、安心・安全・快適に歩けるまちづくりを引き続き推進するとともに、今後想定せざるを得ない首都直下型地震等の際に、救援拠点となる「防災首都」として機能するよう、交通インフラなどの基盤整備の充実を図り、拠点性を高める。